



四季 ~四中の季節~

第6号(9月)

『正しく学び 自他を尊重し たくましく生きる力を育み ふるさとと共に歩む』

令和8年9月7日発行

校長 関 勝 志

〒187-0045

小平市学園西町1-3-1

☎ 042 (341) 4344

Mail gakkou@34.kodaira.ed.jp

『防災と命の大切さ』

校長 関 勝 志

無事に2学期の始業式を迎えられたことを、とても幸せに思います。生徒が笑顔で登校してくる姿を見てホッとしました。中には「宿題が終わってないから学校に行きたくない」なんて思った生徒もいたかもしれませんが、元気に登校してくれたら、まずはそれだけでいいんです。これからできる範囲でいいので頑張してほしいと思います。また、何か不安や辛いことがあったら、誰かに胸の内を話してほしいと思います。

「無事に」ということは、当たり前ではないということです。夏休み中、7月に熊本県で発生した最大震度7の地震は、大きな人的被害とともに、家屋やライフラインにも甚大な被害をもたらしました。いまもなお多くの人たちが避難生活を強いられています。一日も早い復興を祈るばかりです。

その後も、茨城県で震度5弱の地震が発生するなど、今年に入ってから震度5弱以上の揺れを観測した地震は20回を超えています。地震以外にも、豪雨による土砂災害や河川氾濫などの被害が出ています。

また、日本ではありませんが、ネパールの洪水も、雨がほとんど降っていない中で起こった、想像を絶する出来事です。

改めて、私たちは「防災と命の大切さ」について真剣に考える必要があります。始業式において、生徒たちに三つのことを伝えました。

まず一つ目は、「自分ごととして考え、想定外にも備える」ことです。小平市は比較的自然災害のリスクが低いと言われることもありますが、首都直下地震による火災やライフラインの被害、豪雨による道路の冠水など、いつ想定外の事態が起きるか分かりません。登下校中や一人で家にいるときに災害が起きたらどう行動するか、自分のこととして考えておかねばなりません。

二つ目は、「自分の命を守ることは、誰かの命を救うことにつながる」ということです。災害が起きたとき、最も大切なのは「自分が怪我をしないこと、生き延びること」です。自分が無事でいれば救助の手は他に回ります。また、自分が家族や友達、地域の人たちを助ける「助け手」になることもできます。自分の命を守る知識と判断力、行動力を身につけることは、大切な人の命を守る第一歩でもあります。そのために、2年生は10月に地域合同総合防災訓練に取り組みます。

そして三つ目は、「ボランティアという大きな力」です。被災地の様子をニュースで見ると、必ず多くのボランティアの人たちが活動している様子が映し出されます。若い人から高齢の人までいます。とても立派な行いに頭が下がる思いです。私も協力したいと思ったことは何度もありますが、まだ実現できたことはありません。

中学生は居住地域でほとんどの時間を過ごしているため常に地域にいます。災害が起きたときに地域での活躍が期待される存在です。それは肉体労働的な作業ばかりではありません。思いやりのある言葉かけや明るく楽しい振る舞いでみんなを元気にさせることも、立派なボランティアであり、誰かの命や心を救う力になります。

被災地での直接的なボランティアではありませんが、募金という形で支援することもできます。毎年、夏休みの終わり頃になると、チャリティー番組24時間テレビがあります。今回のテーマは「できた！を増やす」でしたが、心を打たれる場面が多くありました。番組終了時点での募金総額は7億2560万円でした。1学期に生徒たちが任意で協力してくれたユニセフ募金7,183円も日本ユニセフ協会に送金しました。

生徒たちは、自分の周り、そして日本各地や世界で起こっている様々なことを見聞きして、いろいろなことを感じ、思っています。ただ思っているだけでなく、思いを行動にできる人になってほしいです。

1学期の終業式で「ベストを尽くす」ことや「最後までやりぬく」ことの大切さについて話をしました。45日間の夏休みに、できたこともできなかったこともあると思いますが、いつでも始めるチャンスはあります。いつ始めるかを決めるのは生徒自身です。

2学期は行事も多く、大きく成長する時期です。生徒たちの活躍に期待しています。



■ 1 年生校外学習について ■

1 学年担当 田所・佐藤

10月9日（金）、1 年生は初の学年行事となる川越校外学習を実施します。

1 学期に総合的な学習の時間で「小平調べ」を行い、歴史や文化、産業、自然、名所などを生活班で分担して調べ、クラス内で発表会を行いました。今回の校外学習は、小平駅に集合し、終日班別行動で川越市内をめぐり、身近な小平と比較しながら学びを深めていく予定です。これから実行委員や班長を中心に行動班を組織し、班員たちは副班長・コース係、会計食事係、保健美化係、学習記録係に分かれて、それぞれの役割を担います。時の鐘や蔵づくりの街並み、喜多院、神社や博物館を効率よく巡れるように、これから計画を立てます。川越での班行動は、最終的に修学旅行につながるための第一歩です。まずは安全を第一に、かつ全員が楽しめる校外学習を実現させます。

■ 2 年生職場体験について ■

2 学年担当 北見・濱浦

2 年生は、9月29日（火）から10月1日（木）の3日間、職場体験学習を実施します。

今年度も多くの事業所の方々が、四中の生徒のためにと協力して下さることになりました。今は事前学習に取り組んでいます。1 学期にはハローワークの講師の先生をお招きして、自身の職業適性を知り、希望する職種のアンケートを取りました。夏休み中に自分がお世話になる事業所について調べ、2 学期に入ってから具体的、交通手段や職場体験にかかわる動きをグループで相談しています。マナー講習も予定されており、本番に向けて準備を進めているところです。普段の学校生活とは異なり、慣れない環境でコミュニケーションをとり、仕事を行うことに対し不安を抱えている生徒も多いと思いますが、この職場体験が、今後どのような生き方をしていくのか、自己の進路や将来、キャリア（社会の中で役割を果たしつつ、自分らしい生き方）を考えるきっかけになることを期待しています。

■ 3 年生修学旅行について ■

3 学年担当 安部・田中

9月26日（土）～28日（月）、3 年生は奈良・京都へ修学旅行に出かけます。

今年は、1 日目は新大阪で下車し、法隆寺から東大寺を巡ります。2 日目は自分たちで設定したコースを巡る、班ごとの京都市内見学です。3 日目はクラスごとにバスで京都市内を巡ります。

1 年時の川越校外学習に始まり、スキー移動教室、2 年時の都内巡りと、生徒たちが運営し、充実したものにしてきました。そのまとめ「集大成」です。スローガンは『修大成』。様々な学校行事を、自分たちで考え行動し大きく成長してきました。奈良・京都の貴重な歴史と文化を学び、楽しく、思い出に残る修学旅行になるよう、実行委員を中心として準備しています。

■ 合唱コンクールのお知らせ ■

いよいよ来月、10月29日（木）には、本校 2 大行事の一つ、合唱コンクールを行います。

リハーサルには小・中連携教育の一環として、四小・十小の小学 6 年生をお招きし、3 年生の合唱を鑑賞してもらいます。生徒も本番同様の気持ちが入ることでしょう。

昨年度の合唱コンクールより、保護者の皆様に他学年の合唱も鑑賞していただけるようになっております。各ご家庭のご鑑賞の人数にも制限はありません。多くの方のご来場をお待ちしております。

当日の保護者席は 2 階となります。他学年の鑑賞を希望される方は、2 階席中央通路より後方のお席で鑑賞することができます。中央通路より前方のお席は当該学年の保護者が優先となりますので、よろしくお願いします。

各学年入替制になりますが、他学年の鑑賞を希望される方は、一度ホールを出られまして再入場をお願いいたします。（当該学年が続く場合を除きます。）



■ 生徒の活躍 ■

◆吹奏楽部◆ 第 65 回東京都中学生吹奏楽コンクール 金賞（5 年連続）※東京都吹奏楽コンクール出場

◆剣道部◆ 令和 8 年度小平市中学生剣道大会 男子団体戦 3 位

◆空手道◆ 第 64 回茨城県空手道選手権大会 優勝 3A 吉野誠一郎



【10月の主な行事予定】

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1 日 職場体験（2） | 16 日 生徒総会 |
| 2 日 英検（第 2 回） | 17 日 土曜授業日 / 体験活動の日 / CS 合同研修会 |
| 5 日 全校朝礼 / 避難訓練 | 19 日 振替休業日 |
| 6 日 復習確認テスト（3） | 20 日～21 日 学校公開 |
| 9 日 川越校外学習（1） | 23 日 進路説明会（3） / 漢検（第 2 回） |
| 13 日 専門委員会 | 26 日 生徒会朝礼 |
| 14 日 中央委員会 | 29 日 合唱コンクール |